



5月号

# 麻布幼稚園だより

港区立麻布幼稚園  
園長 佐藤 幸子

## 様々な体験を通して

園長 佐藤 幸子

新学期が始まり、1か月が経ちました。園庭には、うめ組がつくった鯉のぼりが泳いでいます。この鯉のぼりは、うめ組が友達と少人数のグループで作りました。初めての共同製作ですので、友達と考えを出し合ってつくることを楽しむように、相談のポイントを絞り、鯉のぼりの色、模様、形の形や色など、あらかじめ教師が準備しておきました。すみれ組は、こいのぼりにセロテープでうろこを張りました。今までもセロテープを使ってきましたが、今回はどのくらいの長さがよいのかを伝えています。旗紙の鯉のぼりは風を受けると音がして、鯉のぼりを手にして園庭を走り回っていました。みかん組は、画用紙の鯉のぼりにシールを張りました。鞆のように肩にかけて遊んでいます。

うめ組の子どもたちは、みかん組の登園を迎え、身支度のお手伝いをしました。みかん組に声をかけながら身支度を手伝い、みかん組の子どもたちもスムーズに遊びに向かえました。手伝いが終わると、うめ組も一緒に遊び、楽しい雰囲気にもなりました。保育室に戻ると「泣いている子がいたから、声を掛けたよ」と担任に報告していました。その姿はすっかりお姉さん、お兄さんに見えました。こうして、少しずつ年長児としての自覚をもっていくのですね。さらに、保育室の向かい側のプレイルームで大型積み木を使って遊ぶのが楽しくなっています。安全指導で、積み木を積むのは、3段までと言う約束になっていましたが、遊んでいるうちに厚みの薄い積み木は3段でも低いということに気付きました。うめ組のみんなと相談して胸の高さまでは積んでもよいということになりました。年長組では、これまでの経験を基に遊びや生活の中で、必要なことに気づき、考えを出し合って生活を進めていきます。

すみれ組の子どもたちは、今までしてきた遊びを楽しみながら、新しくなった中型積み木を使って遊ぶのも楽しくなりました。うめ組さんの様子も見ている、面白そうなことがあると仲間に入れてもらって遊んでいます。

みかん組では、家庭で親しんでいる遊具を中心にやりたいことを見つけて、遊べるようにしてきました。保護者と別れるときに泣いていた子ども、教師や友達と自分の遊びを楽しんだり、安心できる場所を見つけたりして過ごしています。園庭に出て遊ぶのも楽しくなりました。みかん組の砂場では、ごちそうをつくらせて食べさせてくれたり、穴を掘ったり山をつくらしたりしています。広々とした園庭で走ることも楽しくなりました。教師と一緒に走ったり、追いかけてもらうのを楽しんだりして動きも大きくなっていきました。ご家庭での経験はそれぞれで、個人差が大きいですが、幼稚園で遊びながら経験を広げていきます。



さくらんぼ



虫探し



うめ組の鯉のぼり



ヤゴをみつけたよ